

アバスチン®の治療を受けられる方へ

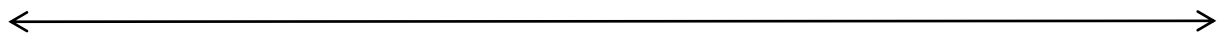
●アバスチンは卵巣癌に用いられます。他の抗がん剤と併用した後、単独で継続使用します。

投与スケジュール

1日目	2日目以降
アバスチン®	休薬期間



点滴



1コース(3週間)

3週間を1コースとして繰り返します。

併用療法例

カルボプラチン + パクリタキセル療法

カルボプラチン + ゲムシタビン療法

主な副作用

次のような症状が現れたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

◇高血圧：頭痛、けいれん、ふらつき

定期的な血圧を測定し、最大血圧が180mmHgまたは最小血圧120mmHgを超える場合は報告して下さい。

◇蛋白尿

尿の蛋白質量が増加する場合があります。

◇粘膜出血：鼻出血、歯肉出血

10～15分たっても出血が止まらない場合、すぐに連絡してください。

◇血痰

喀血の前兆の可能性があるため、血痰の量が多くなる、または続く場合はすぐに連絡してください。

◇白血球・好中球減少：抵抗力の低下

38℃以上の発熱がみられた場合、すぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人ごみを避けてください。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇喀血/肺出血

大量の血液を吐いた(咳とともに、鮮紅色で泡状の血液が出る)場合、すぐに連絡してください。

◇脳梗塞

麻痺、ろれつが回らない、激しいめまいなどの症状が現れたら、すぐ連絡してください。

◇心筋梗塞、狭心症

胸を刺すような、締めつけられるような痛みなどの症状が現れたら、すぐ連絡してください。

◇深部静脈血栓症

足がむくみ、しびれなどの症状が現れたら、すぐ連絡してください。水分をとり、長時間同じ姿勢はとらないようにしましょう。

◇肺塞栓症

息切れ、息苦しさ、胸の痛みなどの症状が現れたら、すぐ連絡してください。

◇消化管穿孔：腹痛

突然強い腹痛が起きた場合、痛み止めを使用せず、すぐに連絡してください。